

会長挨拶	2
総会	3
財務諸表	4
署長インタビュー	5
統括官インタビュー	6
税務署だより	7
女性部会だより	8・9
青年部会だより	10・11
地域の話題	12・13
特集	14・15
絵はがきコンクール	16



税に関する 第13回 絵はがきコンクール

♪応募作品展示会 開催のご案内♪

伊賀市・名張市の小学6年生のみなさんが「身近な税金」について、考え、感じたことを絵はがきに描いてくれています。今年も力作ぞろい!!

是非ご覧ください♪

伊賀地区

会場 ハイトピア伊賀3階 (ホール)
伊賀市上野丸之内500番地
日時 令和4年11月4日(金)～
11月10日(木)

※ 期間中(午前9時～午後5時)、ご自由にご覧いただけます。

名張地区

会場 名張市役所 (ホール)
名張市鴻之台1番町1番地
日時 令和4年11月14日(月)～
11月18日(金)

～研修会のご案内～

決算・申告実務研修会

◆日時 令和4年9月27日(火)
午後2時00分～午後4時00分
◆会場 名張産業振興センターASPIA
4階会議室
◆内容 法人税・消費税・源泉所得税・印紙税
に関する、誤りやすい事例を具体的
に説明。

詳細、お申込みについては、同封の「ご案内」をご覧ください。

改正税法研修会

◆日時 令和4年10月28日(金)
午後2時00分～午後4時00分
◆会場 ハイトピア伊賀3階ホール
◆内容 税制改正の情報を提供し、実務に
役立てていただけるよう改正項目
について解説。



伊賀線
全線開通100周年

今は無き、西名張駅

1922(大正11)年7月、伊賀鉄道が上野町～名張間を開通させたのと同時に、現在の名張市木屋町に名張駅として開業。

名張の表玄関として、周辺の市街地化が進み、また貨物車の運行もされたため、工場や主要産業だった製材業者も同駅周辺に集まり、名張の近代化を大きく進めた。

その後、参宮急行電鉄(のちの近畿日本鉄道)により、現在の大阪線が建設され、伊賀線と並行する形となる。

1964(昭和39)年10月、乗降者数の減少等により西名張～伊賀神戸間の廃線が決定され廃止となった。



写真提供=伊賀鉄道株式会社



(一社)伊賀法人会事務局は
伊賀鉄道上野市駅前 ハイトピア伊賀3階にて運営しております
(TEL: 0595-24-5774 e-mail: igahojin@e-net.or.jp)

■法人会の運営に関するお問合せ
■税務に関するお問合せ
■研修会や講演会に関するお問合せ…etc.
♪お気軽にお問い合わせください♪



伊賀法人会

製本印刷: 正興印刷株式会社 (三重県伊賀市柏尾 22-7)

ごあいさつ ~greetings~

感染防止と社会経済活動の両立



一般社団法人 伊賀法人会
会長 川口 佳秀

三重県では、「B A.5 対策強化宣言」を8月5日に発出し、9月4日まで期間を延長して取り組みを継続していますが、感染者は8月24日に過去最多の4,674人となり、伊賀地域でも386人（伊賀市221人・名張市が165人）の発生状況です。病床使用率は、60%を超えるなど、医療提供体制は厳しい状況が続いている。医療機関の負担軽減が課題となっており、感染防止対策の徹底をしていかなければなりません。

去る5月26日に開催いたしました通常総会では、コロナ禍の影響から2年にわたり規模を大幅に縮小しての開催でしたが、新型コロナウイルス感染防止策をとり、来賓の皆様を迎えて、会員の皆様にもご出席いただき、講演会と総会が開催できましたことを皆様方に深く感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とし、デジタルの活用によりサービスや仕事の在り方を変革する、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する動きが社会全体進んでおり、国税の申告や納付、e-Taxの普及、キャッシュレス納付の推進等、デジタル化へ大きく加速し始めました。さらに近年では脱炭素（カーボンニュートラル）やGX（グリーントランクスフォーメーション）への注目が高まっており、企業や業界、業種といった枠組みを超えた取り組みを実現するための方法としてもDXは重要視されており、社会的課題への対応にも取り組んでいかなければならぬ状況と捉えています。

このような厳しい環境下ではありますが、本年度も「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、法人会の原点である「税」に軸足を置き、『納税意識の高揚と税知識の普及啓蒙』『税に関する提言』『租税教育活動』『地域社会への貢献』など諸活動を積極的に展開してまいります。特に現在、消費税の仕入税額控除制度は、「区分記載請求書等保存方式」が適用されていますが、令和5年10月1日から、「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入されます。登録を受けるためには、令和5年3月31までに登録申請書を提出する必要があります。ご理解いただけますよう活動してまいりますので、ご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

■事業活動報告

令和4年度 通常総会開催

とき 令和4年5月26日(木)
会場 ヒルホテルサンピア伊賀

- 講演会 14:30～15:30
- 通常総会 15:45～16:50
- 表彰状贈呈式 16:50～17:00
- 懇談会 17:10～18:40

議事並びに報告事項

- ◆ 令和3年度 収支決算報告(案)承認の件
- ◆ 監査報告
- ◆ 常勤役員規程一部変更(案)承認の件
- ◆ 役員選任(案)承認の件
- ◆ 令和3年度 事業報告
- ◆ 令和4年度 事業計画・収支予算報告
- ◆ 役員の辞任報告



多数の会員の皆様のご出席とご来賓のご臨席の下、令和4年度通常総会を開催。すべての議事及び報告事項が異議なく満場一致で承認されました。

本年度も、税のオピニオンリーダーとして、税の提言・啓発活動・租税教育活動など多岐にわたり活動の場を広げ積極的に活動してまいります。

令和4年度 通常総会 講演会

「すぐに役立つ雇用トラブル対策のポイント」

AIG損害保険株式会社共催協力講師 社会保険労務士 赤澤 将氏



総会に先立ち、シグマ総合事務所より社会保険労務士赤澤将様を講師にお招きし、労働時間をめぐるトラブルやパワハラ問題への対策、問題社員への対応のポイント等事例を踏まえてわかりやすくご講話いただきました。

雇用トラブルを未然に防ぎ、より良い職場環境にしていくための有意義な講演会となりました。



功労者等表彰

(一社)伊賀法人会 退任役員感謝状

監事 岡森 久剛 中外医薬生産株式会社

(一社)伊賀法人会 役員功労者表彰

理事 上田 昌司 オキツモ株式会社
理事 寺田 宏司 医療法人[社団]寺田病院

～永年に亘り会活動にご尽力くださいありがとうございました。～

「生きる」を創る。
Aflac

法人会がん保険制度
法人会医療保険制度



アフラックは、1983年より 「法人会福利厚生制度」を受託しています。

あなたの一生に寄りそう保険会社として、約束します。
お客様ひとりひとりが創る、自分らしく充実した人生。
アフラックは、そのお手伝いをする存在であり続けます。

〈引受保険会社〉
アフラック 三重支社

法人会フリーダイヤル **0120-876-505** ※今後の対応は担当の募集代理店が行います。

令和3年度 貸借対照表

令和4年 3月31日現在(単位:円)

科 目	当 年 度	科 目	当 年 度
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	157,814
流動資産合計	4,297,518	2. 固定負債	0
2. 固定資産		負債合計	157,814
(1) 基本財産	9,000,000	III 正味財産の部	
(2) 特定資産	7,194,311	1. 指定正味財産	
(3) その他固定資産	151,425	指定正味財産合計	0
		2. 一般正味財産	
		一般正味財産合計	20,485,440
		(うち基本財産への充当額) (うち特定資産への充当額)	(9,000,000) (7,194,311)
		正味財産合計	20,485,440
資 产 合 计	20,643,254	負債及び正味財産合計	20,643,254

令和3年度 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで(単位:円)

科 目	当 年 度	科 目	当 年 度
I 一般正味財産増減の部		II 経常外増減の部	
1. 経常増減の部		(1) 経常外収益	0
(1) 経常収益		(2) 経常外費用	0
基本財産運用益	85	当期経常外増減額	0
特定資産運用益	115	税引前当期一般正味財産増減額	242,614
受取会費	6,774,000	法人税、住民税及事業税	0
事業収益	501,380	当期一般正味財産増減額	242,614
受取補助金等	5,982,000	一般正味財産期首残高	20,242,826
受取負担金	480,400	一般正味財産期末残高	20,485,440
雑収益	393,657		
経常収益計	14,131,637	II 指定正味財産増減の部	
(2) 経常費用		受取補助金等	5,222,000
事業費	9,895,171	一般正味財産への振替額	-5,222,000
管理費	3,993,850	当期指定正味財産増減額	0
経常費用計	13,889,021	III 基金増減の部	
評価損益等計	-2	基金期首残高	0
当期経常増減額	242,614	基金期末残高	0
		IV 正味財産期末残高	20,485,440



法人会の「経営者大型総合保障制度」は1971年に創設されました。
想いをつないで50年。これからも会員のみなさまと共に歩み、
企業保障の大きな傘で会員のみなさまをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社
三重支社/
三重県四日市市鶴の森1-4-28(ユマニテクプラザ4F)
TEL 059-352-2046

AIG AIG損害保険株式会社
三重支店/
三重県津市丸之内養正町4-1(森永三重ビル)
TEL 059-226-3911



上野税務署 署長インタビュー

三重県での勤務が2度目の白川新署長。
笑顔溢れる温かい雰囲気の中、インタビューさせて
いただきました。

 ご紹介

- ◆氏名 白川 敬史(しらかわ よしふみ)
- ◆出生年 昭和41年生まれ
- ◆出身地 岐阜県高山市
- ◆モットー「自分の時間を大切にする」



聞き手 女性部会 総務委員会
安田早苗・長谷川久美子・町野礼子
小川直子

■前任地についてお聞かせください

名古屋国税局 課税第一部 機動課長として、
2年間勤務。機動課は、東海4県下各税務署の
資産課税部門の職員が少ないとことから、資産課
税調査(相続税・贈与税・不動産譲渡所得)の
際に、調査支援を行うことが主な仕事です。

■ご着任の感想を教えて下さい

上野税務署は、32年振りの勤務で、当時は
法人会が社団化された頃です。色々と思い出さ
れて懐かしいです。



直前部会長 長谷川久美子

■伊賀の印象はいかがですか

有名な酒蔵が多く、お酒がおいしい印象があります。
先日、32年前には訪れていた上野城を訪問した際に、伊賀の盆地
が見渡せ、高山も同じような盆地の地形であることから、落ち着きを感
じさせてくれました。

また、銀座通りが整備されたり、産業会館がなくなっていました。
以前と変わっているところも目に留まりました。



部会長 安田早苗

■休日はどのように過ごされていますか

半分は妻に付き合い、半分は1,200CCのオートバイで山や海方面へ
ツーリングに出かけています。
若い頃から、休日を楽しく過ごすために、仕事とプライベートをきつ
ちりと切り替え、メリハリをつけて過ごしています。



総務委員長 小川直子

■ご趣味はなんですか

高山に住んでいたため、高校時代は山岳部に所属し、山登り(北
アルプス)やマラソンなど昔はいろいろやっていましたが、休みの時
間が限られているので、現在はオートバイだけです。

上野税務署 統括官インタビュー



ご紹介

- ◆氏名 岩田 正晃（いわた まさあき）
- ◆出生年 昭和50年生まれ
- ◆出身地 愛知県一宮市
- ◆モットー「継続は力なり」

インタビュー

■前任地ではどのような担当をされていましたか

名古屋国税局調査部に3年間勤務し、東海4県の大規模法人の法人税調査に従事していました。



副部会長 町野礼子

■ご着任の感想を教えてください

三重県での勤務は初めてとなり、単身赴任のため、いろいろな面で早く慣れたいと思っています。

■税務署の仕事を選ばれたのはどうしてですか

職員募集の垂れ幕が目に入り、手に入れたパンフレットで税務署の仕事内容を調べてくうちに興味を持ち、試験を受けようと思ったのがきっかけです。

■休日はどのように過ごされていますか

単身赴任中のため帰省することが多いと思いますが、帰省しない週末は、管内の名所を巡りたいと思っています。

■ご趣味はなんですか

家族サービスがほとんどですが、たまに三重県南勢部の海上釣り堀に行っていました。釣った魚は自分でさばいて調理もしています。

また、伊賀は山に囲まれており、以前は私も山登りをしていたので、ハイキングをしたいと思っています。

今回、インタビューさせていただき感じた事は、署長様、統括官様ともに、ユーモアがあり、親しみやすいお人柄でおられたこと。

仕事は楽しく、休み時間も大切に「自分の時間を大切にする」をモットーにされている署長様。職員の方へも「自分の休み時間を大切に」と気遣う優しい一面も見受けられました。

伊賀の自然、山、お酒、伊賀牛を存分に満喫して下さい。

〈町野礼子 町野運送(有)〉

上野税務署 異動状況

2022.7.10

職名	旧		新	
	氏名	異動先	氏名	異動元
署長	城戸 孝輔	退職	白川 敬史	国税局 課税第一部 機動課長
総務課長	草野 沢郎	留任		
法人統括官	吉田 幸生	国税局 課税第二部 資料調査第二課 統括主査	岩田 正晃	国税局 調査部 調査第十部門 主査
管理運営統括官	水野 史規	留任		
徴収統括官	山門 孝行	留任		
個人1部門統括官	長谷川友一	中川税務署 個人課税第一部 統括国税調査官	谷川 真隆	静岡税務署 個人課税第七部門 統括国税調査官
個人2部門統括官	多田 一盛	留任		

上野税務署だより



国税庁

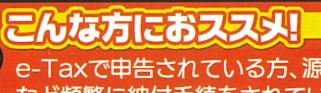
国税の

簡単！ 便利な！

キャッシュレス納付のご案内

国税の納付は、金融機関や税務署等の窓口に行く必要がない、非対面の「キャッシュレス納付」が大変便利です。

1》ダイレクト納付



こんな方におススメ！

e-Taxで申告されている方、源泉所得税の毎月納付など頻繁に納付手続をされている方

さらに詳しい情報は
こちら

ダイレクト納付の申込みをすることで、e-Taxから簡単な方法で口座引落しにより納付する方法です。

- 納付方法 パソコンやスマホから、即時又は納付日を指定して、口座引落しにより納付する方法です。

- 事前手続 e-Tax利用開始届出書、ダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。詳しくは裏面をご覧ください。



2》振替納税



こんな方におススメ！

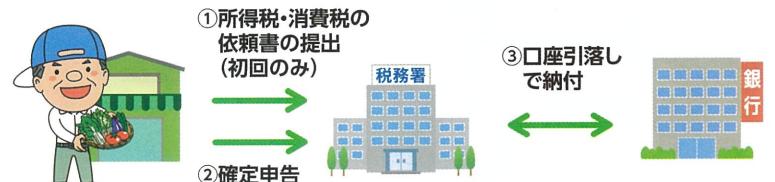
申告所得税や個人事業者の消費税の確定申告書を提出する必要のある方

さらに詳しい情報は
こちら

振替納税の申込みをすることで、毎年の確定申告等に係る国税を口座引落しにより納付する方法です。

- 納付方法 預貯金口座からの自動引落しにより納付する方法です。

- 事前手続 初回のみ振替依頼書の提出が必要です。
※ e-Taxによる提出が可能です。



3》インターネットバンキング等



さらに詳しい情報は
こちら

- 納付方法 インターネットバンキング、モバイルバンキング又はATMから納付する方法です。

- 事前手続 インターネットバンキング又はモバイルバンキングの契約、e-Tax利用開始届出書の提出が必要です。

利用可能な金融機関については、「ペイジー(<https://www.pay-easy.jp/>)」でご確認ください。



4》クレジットカード納付



さらに詳しい情報は
こちら

- 納付方法 国税クレジットカードお支払サイト(<https://kokuzei.noufu.jp/>)からお手持ちのクレジットカードを利用して納付する方法です。※納付税額に応じた決済手数料がかかります（決済手数料は国の収入になるものではありません）。

女性部会だより

活動報告

令和4年度 会員会議・教養セミナー

- 開催日:令和4年4月21日(木)
- 担当:総務委員会
- 会場:ゆめテクノ伊賀
- 参加者:部会員 22名

今年は例年通りとまではいきませんでしたが、ご来賓もご臨席いただき、会員会議を開催することができました。

昼食も黙食ではありましたが、会場でお弁当をいただきました。

教養セミナーでは、統括官の吉田様より相続税、贈与税について、時にはユーモアを入れつつ分かりやすくお話をいただきました。優遇される事例では、質問が会員から出たり、実体験を振り返ったりと、たいへん楽しく勉強になるセミナーでした。

<小川直子 五光(株)>



第16回「法人会全国女性フォーラム 静岡大会」



『ふじのくに』地域で学び、文化でつなぐ~女性の力~を大会キヤッチフレーズに、令和4年4月14日(木)、静岡県のツインメッセ静岡にて、全国女性フォーラムが開催され、伊賀会からは役員4名で参加させていただきました。

「魅力ある女性部会にするために」をテーマとした情報交換会や、俳優の別所哲也氏による記念講演が行われました。

公益社団法人四日市法人会との交流会

四日市法人会女性部会様より、珍しい催しがあるのでとお説明があり、急遽伊賀会より4名が参加させて頂きました。

日本文化にふれ合うという企画で、男芸者 帰間の芸を体験させていただくことが出来ました。

帰間と呼ばれる人は全国で8人。その内6人が浅草、2人が岐阜の柳ヶ瀬だそうです。

コロナ禍でなかつたら、皆様と一緒に参加できたのにと思うと残念ですが、四日市様と和やかに交流させていただけて良かったです。

<松裏里美 (有)インテリア一陽>



帰間さん、舞妓さんとお座敷文化を体験

女性部会だより

一日研修観察旅行

~ものづくりの町 名古屋への旅~

- 開催日:令和4年6月21日(火)
- 担当:研修委員会
- 場所:ノリタケの森
トヨタ産業技術記念館
大須観音・大須商店街
- 参加者:部会員 19名



久々の研修観察旅行で名古屋方面も久しぶりでした。まだコロナ禍で感染対策しつつの行事ですが、実施できてよかったです。

ノリタケの森でのマグカップへの絵付け体験。陶磁器用の絵の具を水で溶き、思い思いに絵付けを行いました。きっとすてきな陶磁器が自宅に送られてくることでしょう。

会食はノリタケの森の緑豊かな木々に囲まれたフレンチレストラン「キルン」にて創作フレンチをいただきました。やさしくすてきなお料理で、非日常を短い時間でしたが楽しみました。

近くのトヨタ産業技術記念館では、織機から自動車製造とトヨタグループの歴史を見学した後、日本三台の大須観音にお参り、少し雨が降る時もありましたが、大須商店街でショッピングも楽しみました。

皆様のご協力を得て、無事に終えることができました。ご参加いただきましてありがとうございました。

<永尾朱美 永尾不動産(株)>



△マグカップへの絵付け体験



△ノリタケの食器とともに
目と舌で楽しみました

▼90年代以降の車両開発について



▼大須観音にお参りしてから
大須商店街へ



▲回転円運動により布を織り上げる
環状織機

青年部会だより

活動報告

令和4年度 会員会議

- 開催日:令和4年5月19日(木)
- 場所:ハイトイア伊賀3階ホール



今年度の会員会議（旧通常総会）は、コロナ禍ということもあり、時間短縮且つ懇親会は行わない形となりましたが、署長・統括官、川口会長・保田組織委員長をお招きし、ハイトイアにて開催し、前年度決算及び本年度予算の報告を行いました。

部会長挨拶では、過去の保田部会長に至るまでの歴代部会長を振り返り、気持ちを新たに2年目の抱負をお伝えしました。

本年度こそは、この深刻な状況が早く収束し、当部会の活動が活発に行われる事を祈念し、新年度をスタートさせました。



租税教室勉強会

- 開催日:令和4年5月13日(金)
- 場所:ハイトイア伊賀3階ホール

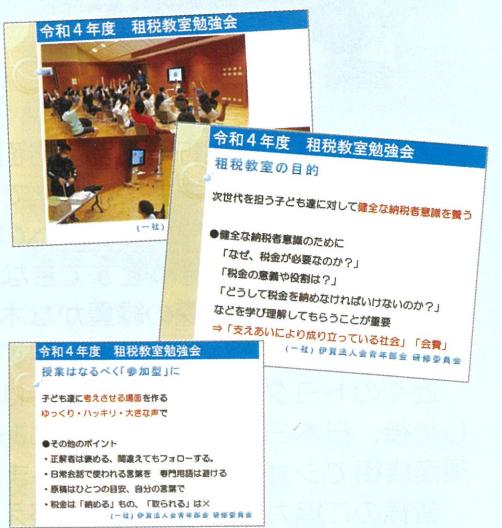


例年行っていますが、租税教室の開催時期変更に伴い、春の開催となっていました。

後に控えた租税教室の事前勉強会として、本格的な実演を交えた形としました。

パワーポイント資料の中でも、税金の流れの部分は、説明と画面内のお金の動きを合わせるのが難しいため、部会長のアドバイスを受けながら多田委員が実演を行い、講師となる部会員の皆さんで確認し合いました。

税金の流れの部分は、より説明をしやすいように改良が必要という意見も出て、有意義な勉強会となりました。



青年部会 租税教室開催

～次世代を担う子ども達に「税金の大切さ」を知ってもらいたい～



6/7 名張市立薦原小学校



6/9 名張市立すずらん台小学校



小学校のカリキュラム変更により、1学期に税金についての授業を行うことになって2年目となった租税教室。本年度も、伊賀市・名張市内の小学校11校にて計13コマ、青年部会員によって開催することができました。

コロナ禍にもかかわらず、多くの小学校からのご要望を受けて、感染対策をしっかりとった上で実施をしております。

内容としては、例年通り、パワーポイントを用いた税金クイズ、税金の流れを勉強してもらい、税に対する理解を深めてもらえたかと思います。

新しい講師も増えてきましたが、今後はパワーポイントの資料をブラッシュアップしていきたいと考えています。

伊賀市立青山小学校
伊賀市立上野北小学校
伊賀市立大山田小学校
伊賀市立島ヶ原小学校
伊賀市立友生小学校
伊賀市立西柘植小学校

名張市立名張小学校
名張市立箕曲小学校
名張市立桔梗が丘南小学校

でも開催しました！

青年部会だより
in 姫路城

第22回 伊賀・税ウォッチング 8/4 木

例年、伊賀・名張市内の小学5・6年生を対象に、税金で建設・運営されている施設の見学と、施設に携わる方々との触れ合いを通じて税金の大切さを学んでもらっている「伊賀・税ウォッチング」。

今年も、十分な感染症対策（児童・スタッフの事前の検温、当日の手指消毒の徹底、密を避けて参加37名に対し、大型バス2台を使用等）を講じて開催しました。141名と多くの方からご応募いただき、厳正なる抽選の結果37名の児童の皆さんにご参加いただきました。

今回は国宝「姫路城」をテーマに、国の宝を後世に伝え残していくには、多くの人々の力や莫大な費用が掛かっていることを学び、それと自分たちが支払っている税金とのつながりについてしっかり学習してもらいました。

受付・打合せ後 いざ出発！



いよいよ姫路城へ



観光ガイドさんから、姫路城の歴史や謎をたくさん教えてもらいました。



税ウォッチングに参加して

ぼくは、この税ウォッチングに参加してよかったです。

まず、姫路城に行って2009年から2015年にかけて「平成の大修理」が行われたことを知りました。その工事は、100種類のコテを使い分けしつぶくいを塗っていたことが分かりました。

姫路城の中に入ってる、とても昔の雰囲気がしました。

友達も作られたのでいい思い出が出来ました。

ありがとうございました。
【参加児童より】



お菊井戸

第80回 名張川納涼花火大会

真夏の夜の復活祭 !!



名張市で、7月30日(土)夜、恒例の「名張川納涼花火大会」が開催されました。

1931(昭和6)年から、地域と共に歩んできた名張川納涼花火大会。91年の歴史があり、コロナ禍の過去2年に規模を縮小して開催された「サプライズ花火」を含め、今回で80回目を迎えました。

今年は、市民の花火を想う強い思いと、コロナを克服し名張の町の活性を築く強い思いで、3年ぶりに本格開催され、名張の夜空いっぱいに5,329発の花火が希望の花を咲かせました。

パステルカラーのスターマインやナイアガラの滝をイメージした花火、職人技が光る細やかな芸術花火など、テーマごとに異なった演出が設定され、名張川河畔の会場とその周辺には約8千人が、市全域では約6万人が観覧し、名張の盆地特有の山々にこだまする花火を楽しみました。



きらり伊賀人

花火写真家

石原健哉さん



三色の華

花火写真で多くの賞を受賞し、フランスの世界最古の国際公募展「ル・サロン」では、2002年に銅賞を受賞。同展には7年連続入選。コンテストのほかにも、東京や横浜、地元伊賀市などで個展を開催し、高い評価を得ています。

石原さんの写真は、花火が開く瞬間にあえてカメラを動かしたり、ズームレンズの角度を変えてみたりと、光の線や跡を残す独自の表現で撮影されています。



雷光



放送作家・小説家 岸 宏子さん

岸宏子さんは、1922年5月5日に旧阿山郡上野町（現・伊賀市）に生まれ、2022年は生誕100年の年となり伊賀市では記念行事も行われています。

父は、文豪、横光利一の従兄弟にあたります。

岸さんは、1942年、20歳の時に書いた小説『醜女(しゅうじょ)』が、菊池寛や岸田國士が選考委員を務めた日本厚生協会主催の第一回勤労文化賞一席に入賞しました。戦後になり、50年頃からはラジオ番組の脚本を書くようになり、やがて放送作家、小説家として活躍し、ラジオやテレビでの放送作品数は350作以上、放送回数は2,800回を超える、テレビドラマでギャラクシー賞などを受賞されました。

90年放送のNHKドラマ『不熟につき…』は、江戸時代、伊賀国で起きた名張藤堂家の独立騒動を素材に描いたドラマで放送文化基金賞を受賞。

小説では、『若き日の芭蕉』、『黒田の悪党』など伊賀や東海地方にゆかりの人物を描いた歴史小説などがあり、『ある開花』は、伊賀くみひもの織り子の女性が、織り貢は安いのに商品は高価で売られていることに気づき、夫の勤め先の女主人との仲に気づいて女主人に夫を買取らせた金で組紐店主を志す物語。この作品を原作にした映画『喜劇“夫”売ります！』や舞台劇『喜劇“夫”売らいでか！』は全国的なヒット、ロングラン公演となりました。

1990年に紫綬褒章、95年には勲四等宝冠章を受章されました。

終生、伊賀に住み続けながら執筆活動を行ってきた、岸さん。2014年に92歳で逝去され、ご遺志により、旧宅や著書・蔵書、自作の著作権等の全資産を市に遺贈されました。

また、岸さんが住んでいた旧宅は、文学記念館としての利活用が予定されています。



写真右 1998年「横光利一生誕百年記念」で対談する岸さん 提供＝伊賀文学振興会



伊賀線

特集

走り続けて 100 年 そして 100 年先の未来へ

忍者列車の愛称で親しまれている伊賀鉄道の列車が走る伊賀線が、今年、全線開通 100 周年を迎えました。



伊賀線は、1916(大正5)年8月8日、伊賀軌道により上野駅連絡所(現・伊賀上野駅)ー上野町駅(現・上野市駅)間3.9キロで営業を開始。1922(大正11)年7月18日に上野町駅から名張駅(後の西名張駅)まで延伸し、全線(計26.3キロ)が開通。その後、1964(昭和39)年に伊賀神戸駅ー西名張駅間9.7キロが廃止され、現在の伊賀上野駅ー伊賀神戸駅間の16.6キロとなりました。

伊賀線全線開通 100 周年事業開催

伊賀線に親しみ、たくさんの人に楽しんでもらおうと、毎年行われている『伊賀線まつり』の規模を拡大し伊賀線全通100周年イベントとして、7月17日に『伊賀線まつり2022』を、翌18日には記念式典として『記念列車出発式』、『木製ベンチお披露目式』が開催されました。



『伊賀線まつり2022』では、上野市車庫とハイトイピア伊賀の2会場で開かれました。上野市車庫においては、列車の扉の開閉や車内放送を体験する「車掌体験」や、線路の保守作業に使っていた2人乗りの軌道自転車で実際にレールを走る「軌道自転車乗車体験」、モニターを見ながら運転士気分を味わえる「運転シミュレーション」のコーナーが。また「鉄道グッズ販売」にはグッズを求めて長蛇の列が出来ました。



一方、ハイトイピア伊賀では、伊賀線の駅や線路、沿線の風景を再現した150分の1のジオラマや、昔の伊賀線資料・写真の展示、「みんなで歌おう鉄道のうた」ミニコンサート等が行われ、この日は、イベントに参加しようと述べ3,000人の鉄道ファンや家族連れでにぎわいました。



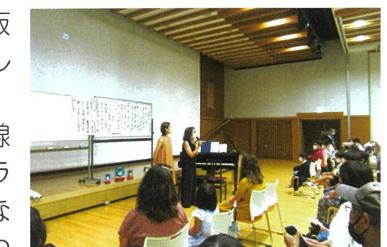
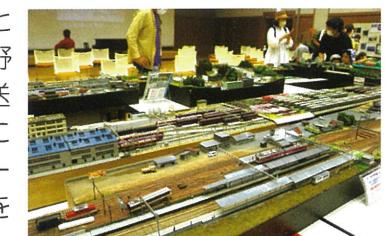
翌日の記念式典では、この日限定の手裏剣をかたどったヘッドマークが付いた記念列車が運行され、関係者ら約100人が出発を見守りました。



上野市駅の駅コンコースとプラットフォームに設置されている行先案内表示器発車メロディー及びアナウンスも、全線開通100周年を記念してリニューアルされ、発車メロディーは『忍者っぽい』と『上野天神祭りのお囃子』をイメージとした“伊賀らしさ”を表現しています。



また、茅町駅では、県立伊賀白鳳高等学校工芸部の皆さんのがこの日に合わせて木製ベンチの制作や待合室の改装に取り組み、木製ベンチのお披露目式も開催されました。



この木製ベンチの制作と待合室の改装には、みえ森と緑の県民税^{※1}「森のやすらぎ空間整備事業(伊賀の木活用人材育成)」の交付金を財源として行われました。

ベンチには地元産材を使用し、工芸部員がデザインから制作までを全て行いました。傷やはがれが目立っていた駅舎の壁は職人とともにしつくなどで白く塗り明るい雰囲気に。自販機には統一感を持たせるため木製の柵を制作し、駅を利用する人が快適に過ごせるように、との思いが込められています。



今回イベントに参加できなかった方も、この機会に伊賀線に乗ってみてはいかがでしょうか。いつもより高い所からの目線で、街中でビルやお寺、民家などの間を縫うように走り、視界が開け田畠の広がる田園風景を走る中、季節の移ろいなど新たな発見や、さまざまな車両の魅力・面白い発見に出合えるかも知れません。

走り続ける伊賀線へ



これまで1世紀にわたり、市民の重要な交通手段として、人々の生活を支え、地域の発展に貢献し、街に溶け込んできた伊賀線。現在、利用者の7割超が通勤・通学での利用と地域生活にとって不可欠な鉄道であり、JR関西本線、近鉄大阪線を繋ぐ重要な鉄道路線です。しかし、クルマ社会への進展、沿線地域の少子高齢化が進んだこと等もあり、利用者は減少傾向にあり運営の面で厳しい状況が続いています。

2007(平成19)年には、近鉄と伊賀市が出資する第3セクターの新会社



「伊賀鉄道株式会社」を設立し、近鉄が施設や車両を保有し伊賀鉄道が運行する「上下分離方式」による新事業形態へ移行。さらに2017(平成29)年には、近鉄から譲渡された車両や施設を市が所有し、伊賀鉄道が運行する「公有民営方式」へ事業形態を変更して路線の維持存続をしています。

鉄道は、単なる移動手段ではなく、市民の安心感のよりどころであるとともに、まちの活力の源です。100周年を機に、鉄道が存在することの意義を再確認し、通勤・通学の利用だけでなく、観光や地域振興の活性化に繋がるようにみんなで考え、100年先も地域に愛されながら走り続ける伊賀線であってほしいと願っています。

忍者列車



「忍者列車」は、ゆめぼりす伊賀の街開きを記念して、1997(平成9)年に初めて登場。「銀河鉄道999」や「宇宙海賊キャプテンハロック」などで有名な漫画家の松本零士氏がデザインした伊賀鉄道のラッピング列車の愛称。

現在、青色とピンク色そして緑色の計3編成で運行。列車によって、手裏剣柄のカーテンや網棚に忍者の人形が設置されている等、ユニークな車内となっている。

また、緑色の列車は、2016(平成28)年に、みえ森と緑の県民税^{※1}を活用して、内装を木質化し「木育トレイン」として運行。木質化できない部分については、伊賀市の市単独事業予算とふるさと納税の寄付金が活用されている。

※1 みえ森と緑の県民税…平成26年4月1日からスタート
した県民税均等割の超過課税

写真提供=伊賀鉄道株式会社、伊賀市企画振興部交通政策課
© 松本零士 / 零時社